

2017年
2月10日

No.219

さざなみ

〒520-2141
大津市大江6丁目23-24

さざなみネット
(金融労連・全国金融産業労働組合滋賀分会)
TEL・FAX 077-545-5154

滋賀銀行従業員組合・年金者部会・さざなみネット合同旗開き

人事制度改定・滋賀銀行の将来など対話してがんばろう

さざなみネットは、滋賀銀行従業員組合および同・年金者部会と合同で、1月19日大津市内において、「2017年旗びらき」を開きました。それぞれの役員14人が、内さざなみネットからは4人が参加しました。

最初に中島滋賀従組委員長が挨拶しました。

人事制度改定の影響など 対話・相談し運動を進めていきたい



昨年末に人事制度の改定の提案を受けた。人事制度でどのような影響があるのか、分析・議論し交渉を進めている。滋賀銀行を良くしたいとの思いは、組合に関わってこられた先輩方も大きいと思う。先輩方の意見も聞きながら、共に働く仲間と対話し、今年1年間運動を進めていきたい。

仲間と対話し、今年1年間運動を進めていきたい。

次いで和田年金者部会部会長が挨拶しました。

郷土滋賀に、滋賀銀行という 看板を掲げていけるように



寒牡丹 岩波 美智子さん 画



高齢者を今の政府はどう考えているのか、邪魔者なのか、早く死ねというばかりだ。年金は下がっている、しかし引くものはきっちり引き続けている。声をあげ地域の中で頑張っていかなければだめだ。

先ほど人事制度改定の説明を聞いた。よくなるのかと思ったらひどいものだ。これで将来の夢・展望が持てるのか。頑張っって応援していきたい。滋賀銀行の将来のことをいろいろ聞く。郷土滋賀に、滋賀銀行という看板を掲げていけるようにともに頑張ろう。



倉見年金者部会世話人の発声で乾杯の後、参加者は新しい年への決意などを、食事をしながら交流し、今年の健康と要求実現に向け奮闘することを誓い合いました。

最後に浦谷さざなみネット分会長が、閉会の挨拶をしました。

身体に気を付けて今年もがんばろう

今年は新しい課題もあり、気を引き締めて頑張っていきたい。金融のあり方など新しい年の抱負を交流していただいた。今年もみなさん身体に気を付けて、今年もみんなでがんばろう。



金融ユニオン2017年春闘方針(2月4日第8回中央委員会決定) 全労働者の賃上げと職場改善 要求が実現できる春闘に

アメリカの次期大統領のトランプ氏の「積極財政」方針によって、株高・円安になっていますが、機関投資家からは、「米新政権への政策期待で円安・株高が進んだが、積極財政色を後退させれば、相場が円高・株安に走り出す危険がある」と指摘しています。また、政府が景気の判断を示す12月例経済報告で「一部に改善の遅れもみられるが、緩やかに回復基調が続いている」と判断基準を1年9カ月ぶりに引き上げしました。先行きについては、「海外経済の不確実性に留意する必要がある」との見方を維持しています。

2008年の世界経済・金融危機、リーマンショック以降、日本経済は他の主要国と比べても異常な落ち込みをしています。主要7か国中、日本は個人消費が直近2年連続で低下している唯一の国となっています。大企業は三年連続で史上最高益を更新しています、そして富裕層にも巨額の富が蓄積されています。また、企業の2015年度の内部留保は前年度を13.5兆円上回る313兆円で史上最高額を更新しました。配当や役員報酬も前年を上回ったものの、従業員一人当たりの賃金は減少しました。また、家計消費は実質13ヵ月連続して、前年同月比マイナスとなっています。大企業がもうかれれば家計に回るという安倍政権のトリクルダウン政策は破たんを示しています。

2017年春闘が動き出しました。労使に先んずる形で口火を切ったのは安倍首相です。昨年11月に開催の第3回働き方改革実現会議で、賃上げを3年連続で実現してきておりますので、少なくとも今年並みの水準を期待しています。特にベアを3年連続で実現していますので、4年連続の実施をお願いしたいと発言がありました。しかし、一例を挙げれば昨年の賃上げ時に北陸銀行は「政府から賃上げ要請は無い」との発言があるように、直接政府から「賃上げ要請」を受けないと要請にあたらないと企業は認識しています。

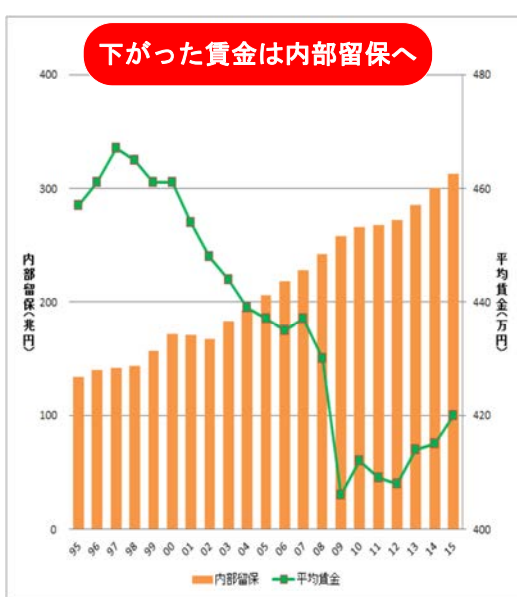
最近の動きとして経済産業省が「フリーランス

の勧め」をしていきます。ドラマでも「ドクターX」がフリーランスの外科医として人気がありますが、フリーランスという自分の時間を自由に使うことができ

る様なイメージを持ちますが、被雇用者でないで、雇用主が福利厚生や労働環境に責任を持たなくても良いという働き方を広げようということに注意が必要です。

企業全体で見れば賃上げの余地はまだある点を押さえておく必要があります。賃上げの有無や生活改善、職場改善の水準等、日本では、今、女性労働者の6割が非正規雇用です。非正規でしか働けない・子どもがほしいけど産めない」などの実態に直面しています。派遣・パートなどの非正規労働者の賃上げと正社員への転換・無期雇用化・福利厚生の同一などの要求を高く掲げ、均等待遇を実現するために、「働くこと」に関して問題が山積しています。春闘を、これらの問題について私たちが考え広く議論する機会とします。

2017春闘は、賃上げ月額20,000円以上、時間額150円以上を目指し、要求を持つ新しい仲間も迎えて、要求が実現できる春闘にしましょう。(省略・要求の基本など)



ひとこと

1月22日、前進座初春特別公演を観劇した。南座の改修に伴い先斗町歌舞練場で行なわれ、「雪月花源氏旗本一牛若丸」と「人情断 文七元結」が上演された。

「文七元結」は、落語でもおなじみの、三遊亭圓朝の人情話を芝居にしたもので、娘が身売りをしてまで父親に尽くすこと、身知らずの者に大切な金を与えてしまうこと、一度手放した金は自分のものではないと格好をつけて言い張ること、すべて江戸ならではの価値観と体裁で、今の考えからすれば不自然であるが、命のかけがえのなさを笑いと涙の中に描き、暖かな庶民の姿に心を揺さぶられた。

前から2列目でよく見え、また最後に撒かれた福餅がうまく飛んできた。帰りのバスの中でくじで、出演者全員のサイン色紙も当たった。今年

東洋趣味を加味した先斗町歌舞練場